

<報道発表資料>

令和4年6月20日

令和2年度の一般廃棄物（ごみ）の 排出及び処理状況等について ～ごみの削減及びリサイクルに向けたライフスタイルを～

埼玉県内の一般廃棄物（ごみ）の排出及び処理状況等（令和2年度）について、調査結果を取りまとめたので公表します。

令和2年度のごみの総排出量は、令和元年度と比べて減少しました。近年は微増傾向でしたが、減少に転じています。

ご家庭での食品ロスの削減やリサイクルできるごみの分別の徹底等、今後も、ごみの削減やリサイクルを意識したライフスタイルを実践していただくようお願いいたします。

1 ごみの排出状況

ごみの総排出量は232万トンで、前年度に比べて0.2%減少しました。

また、生活系ごみ排出量は175万トンで、前年度より3.7%増加しました。

なお、事業系ごみ排出量は49万トンで、前年度より9.8%減少しました。

2 ごみの処理状況

(1) リサイクル量（マテリアルリサイクル）

リサイクル量は56.8万トンで、前年度に比べて2.8%増加し、リサイクル率は24.4%で、前年度に比べて0.7ポイント増加となりました。

(2) 最終処分量

最終処分量は8万6千トンで、前年度と比べて6.2%減少しました。県民1人1日当たりの最終処分量は31.7グラムで、前年度に比べて5.9%減少しました。

最終処分量がこのレベルを維持した場合、県内最終処分場の令和2年度末時点での残余容量（175万 m^3 ）は約28年分に相当します。